

三真

真実を求め
真実を語り
真実を行く



令和5年度妻中学校だより

9月号

校長

伊東 泰彦



妻中HP

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

芸術の秋・JILLEさんのスクールコンサート

9月20日(水)、西都市出身のシンガーソングライター「JILLE」さんの鑑賞教室として行いました。JILLEさんは、本校の第55回卒業生で偉大な先輩ですが、とても気さくなお人柄で、母校の中学生たちに話しかけてくださいました。また、吹奏楽部とのセッション

ンや、有志の生徒たちによるギター伴奏で歌ったり、全校生徒と一緒に「きっと」を歌ったりと、とても楽しいステージを演出してくださいました。また、プロのピアニスト八谷晃生さんの伴奏もとても素晴らしく、音楽の楽しさやすばらしさを体感できました。



吹奏楽部とのセッション



有志4名のギター伴奏で歌うJILLEさん



全校生徒も一緒に「きっと」を歌いました



JILLEさんとピアノ伴奏の八谷さん

■JILLEさんからのメッセージ 母校で歌うことができ幸せでした。これからたくさん輝いていく、何者になっても、どこにでも行ける皆さんと一緒に同じ時間を過ごせて幸せでした。また皆さんに会えますように!!

■八谷晃生さんからのメッセージ 妻中の皆さんこんにちは。誰かの喜ぶ顔が見たくて大好きな音楽を続けています。皆さんも大好きなことを見つけてください!!

スポーツの秋・水泳部の大活躍!



県の総合優勝を成し遂げた水泳部の選手たち

9月22日に行われた宮崎県中学校秋季体育大会(中体連)水泳大会で、本校の水泳部が、メドレーリレーでの優勝や個人でも上位を獲得するなどして県の総合優勝という快挙を成し遂げました!

他の部も、ビッグスポーツ平原杯・優勝(サッカー部)、梅田学園杯・準優勝(野球部)、タカヒラスポーツサマーカップ・優勝(男子バスケット部)、同・準優勝(女子バスケット部)など、新チームも活躍しています。9月30日~10

月6日にかけて行われる秋季中体連・西都見湯地区大会でも、ぜひがんばってください!!

文化の秋・英語暗唱弁論での大活躍！

9月22日には、西都原考古博物館ホールを会場に、西都西米良地区の英語暗唱弁論大会が行われました。本校からは暗唱の部・弁論の部にそれぞれ3名ずつの生徒が参加しましたが、暗唱の部で野田晃太郎さんが最優秀賞、重永優奈さんが優秀賞、弁論の部で田中葵彩さんが最優秀賞という素晴らしい成績を収めました。どの生徒も素晴らしいパフォーマンスで、とても感動させられましたが、セレモニーが終わった後に、賞を取った生徒も取れなかった生徒も、ともに涙を流している姿がとても印象的でした。それだけ懸命に努力をしてきた証なのだと思います。出場した生徒の皆さんお疲れさまでした！



最優秀賞の二人は県大会にも出場します。ぜひ頑張ってください!!

三真の轍^{わたち}

石碑考

学校再編時には、現在中央公民館がある場所も西都中の敷地になるそうです。現地に行ってみた所、南端に古い石柱の展示スペースがあることに気付きました(※下写真)。昔の主要道路に設置されていた「道路元標」や二宮金次郎像などが展示してあり、興味深い場所です▼道路元標とは、昔の主要街道に設置されていた道路標識みたいなもので、西白杵の旧道沿いには今でもたくさん現物が残っていますが、開発の進んでいる平野部ではあまり見られませんが、展示されている道路元標には、左側面に「佐土原へ八杵(ギメイト)、妻へ六杵、宮崎へ二十七杵」、右側面に「三財へ六杵四、高岡へ二十二杵」と刻まれており、徒歩で往来していた人々がそこに立ち止まり、目印にしたのだろうという実感が湧きます▼一方の二宮金次郎像ですが、記憶違いでなければ私の中学生時代にも妻中の体育館裏にあったはずで、この石柱群が整備されたのが昭和五十九年であることから、ひよつとすると妻中にあった石像が移転されたのかもしれないと、少し懐かしくなりました。昔は多くの学校に設置されていた金次郎像ですが、歩きながら本を読む行為や子どもが薪を背負って労働する姿が現代にはそぐわないことなどから、最近ほとんど見ることがないと思います▼ただし、この石像が本当に表現したいことは何なのかについて、十年ほど前ですが、金次郎の七代目の子孫・中桐さんという方の講話を聞いたことがあります。中桐さんによれば、像の本当のメッセージは、「前に一歩踏み出している足」なのだそうなんです。どんなに苦しい時でもくじけず、あきらめず、前に踏み出していく姿勢の大切さを伝えたいのだそうです。私も本校の生徒には「挑戦する姿勢」を育てたいと考えていますので、この像から再び学ばされた気がしました。(校長 伊東泰彦)



現在の玄関前中庭



踏み出している足が重要！



中央公民館横の石碑展示スペース

お知らせ(再) —本校卒業生の方々へ—

先月号でもお知らせしましたが、令和8年4月の「西都中」再編に伴い、現妻中学校の中庭の姿が大きく変わります。スクールバス乗降場所確保などの関係で、中庭や樹木などはなくなる計画です。校歌の刻まれた石碑等の一部はこのスペースの東側に並べて残していく予定ですが、モニュメント等は撤去される計画です。

記念樹やモニュメントなどの取扱い等についてご意見がある場合は10月末までに、校長へご連絡くださるようお知らせいたします。【妻中☎0983-43-3219】